

羅針盤



第 25 号

令和5年11月20日(月)

◆ 「感謝の心、思いやりの心」

今週の木曜日、11月23日は生徒の皆さんも知っているとおり、「勤労感謝の日」です。君たちの保護者の皆さんは、君たちに少しでも幸せになってもらいたいと一生懸命に仕事をされています。学校でも、各学級の担任の先生や副担任の先生、各教科を担当していただいている先生、事務室の事務職員さんや管理作業員さん、スクールカウンセラーさんや図書館補助員さん、特別支援教育センターさんなど、本当にたくさん的人が、君たち生徒の皆さん一人ひとりの誰もが心豊かで自立できる人になってほしいと一生懸命に仕事をされています。皆さんの学校での生活、つまりは、学習や学級活動、学校行事や部活動も、このように様々な人たちの支えがあってこそ成り立っています。当たり前のようなことではあるかもしれません、「当たり前」という言葉で終わってしまうようなことではないことだと思います。「勤労感謝の日」に限ることなく、日頃から感謝する気持ちを持つことが何よりも大事なことではないでしょうか。また、学校には保護者の方々をはじめ、地域で活動されている方や、君たちが進学する高等学校の先生など、様々な人が来校されます。廊下や階段など、校内でお会いした時には、きちんと「挨拶」ができているでしょうか。来校された方々をもてなす気持ちの表れとなるのが「挨拶」です。「こんにちは！」の一言で、清々しい気持ちとなり、一日の中での嬉しい出来事になるものよくあります。「挨拶」が当たり前にできる。生徒の皆さんのが、来校される方を思いやりの心でもてなすことができる人に成長してくれることを期待しています。「感謝の心と思いやりの心」を持って、豊かな感性を育んでいってほしいと願っています。



◆ 進路に向けて

明日からは2学期の期末テストが始まります。3年生については、すでに1回目となる進路懇談会も終えました。学校行事として取り組んだ運動会や、あるいは、体育的な部活動の競技では、「勝ち」「負け」がはっきりとしていて、そのことに生徒の皆さんも一喜一憂したことだと思います。しかしながら、進路選択は「勝ち」「負け」はありません。自分にとってのより良い進路を、自ら考えぬき、自らが納得したうえでこそ、選ぶべきものです。お家の方とも十分な話し合いを繰り返しながら、進路を選んでいく必要があります。ときには、思い悩み、そして、お家の人と意見が合わずに衝突するようなことがあったかもしれません、自分自身の進路決定から決して逃げることなく、自分自身の考え方しっかりと向き合い続けてもらいたいと思います。周りにいる君たちを支えてくれている人たちとしっかりと相談をしたうえで、自分自身の進路を自らの手で決定していってほしいと思います。考えぬいた時間や、思い悩んだ時間は決して無駄なものではありません。自分自身の納得解を見つけ出すための時間は、貴重なものであったことに気付く人であってほしいと思います。